

平成26年度 看護部事業計画 院内研修実施一覧表

教育目的：看護部職員一人一人が責任ある良質な看護が提供できる

教育目標：①専門的知識、技術、態度を高め実践能力を養う

②問題解決能力、指導能力を高められる人材を育成する

③チェックリスト、看護基準を全スタッフに浸透し統一した看護、指導ができる

④一人一人が主体性を持って生き生きと看護活動にのぞめる

研修名	日時	対象者	参加者	ねらい	担当・講師	評価
接遇マナー(グループワーク)	4月30日	看護・介護・リハビリ	看護職員 18名 介護職員 3名 リハビリ職員 11名 他部署職員 2名	患者と家族の気持ちを大切に、病院職員としてのマナーを身につける	4階病棟担当者	概ね好評であった。今回の研修より、グループワークへ変更。他職種、少人数での意見交換となり、参加しやすい研修となった。
看護・介護手順の回覧		看護・介護・リハビリ	教育委員	各部署において必要な専門的知識、技術について学習会を主催し他部署と学びを共有する	各病棟で。	看護手順、介護手順の見直し実施。院内統一のルール確認。各病棟の特色など修正し、7月に改定する。
AED講習会第1回 (医療安全委員会)	5月	全職員	看護職員 19名 介護職員 リハビリ職員 16名 他部署職員 9名	生命を守る専門職として基本的な救命処置について学ぶ	AEDの業者に依頼	一時救命処置について学び、どこで急変があってもスタッフ全員が同じように対応出来るよう実践的に研修を行った。
手洗い実習① (感染委員会)	5月 各日	全職員	看護・介護職員 56名 リハビリ職員 30名 他部署職員 28名	手洗いの基本的な実践を全職員に浸透させる	各病棟・各部署で実施	1度洗い 合格者 84名 2度洗い 合格者 30名 爪、指先に洗い残しが多くみられた。
看護記録記載基準の改定及び統一	6月	看護職員	教育委員	略語集の見直し、統一を図る	各病棟で実施	各病棟でアンケート実施。集計後意見を合わせ作成し完成。8月より使用開始する。
感染対策研修会(感染経路別)	6月19日 6月25日	全職員	看護職員 33名 介護職員 8名 リハビリ職員 27名 他部署職員 14名	評準予防策についての対応(接触・飛沫・空気感染経路)を学ぶ。	感染委員	「再確認出来て良かった」との感想は聞かれたが、現状は手指消毒や環境整備が徹底されていない。是非、現場で実際に生かしてほしい。
トランスファー講習会	7月24日	看護・介護・リハビリ	看護職員 21名 介護職員 4名 リハビリ職員 23名	安全・安心なトランス方法を実践で学ぶ	PT/OT	朝倉訪看の看護師も参加。講習のあと実技あり。トランスで困っていることや入院している患者がモデルとなり、やりやすいトランス方法を学ぶ機会となった。
医療安全研修(DVDによる研修)	8月4日～11日	全職員	看護・介護職員 62名 リハビリ職員 30名 他部署職員 17名	すべての看護職のための緊急・応急処置	DVDによる研修	今回、はじめてのDVD研修、自由参加型方式をとったが概ね好評を得た。アンケート講評は別紙参照。
看護協会研修受講者伝達講習会①	8月8日	看護・他希望者	看護職員 16名 介護職員 0名 リハビリ職員 0名	研修で得られた知識・技術・情報を伝達することにより職員間が共有し、研鑽することができる	院外研修会参加者より	講習会の内容を受講者より学び、臨床で生かせるポイント(指差し確認を行いリスク回避、栄養アセスメントなどについて)を学んだ。
当院医師講習会依頼	9月 26日	看護	看護職員 27名 その他 2名 介護職員 8名 リハビリ職員 16名	生命を守る専門職として基本的な救命処置について学ぶ	講演者 本多医師	Drの視点での急変時のポイントについて分かりやすく講習あり。再確認する機会となった。

手洗い実習② (感染委員会)	10月～12月にかけて実施	全職員	看護職員 41名 介護職員 19名 リハビリ職員 32名 他部署職員 24名	手洗いの基本的な実践を全職員に浸透させる	各病棟・各部署で実施	指先に洗い残しが多くみられた。業務を行う時は指先を使うので課題として残る。
ノロウイルス 感染防止対策(感染委員会)	11月5日 11月14日	全職員	看護職員 27名 介護職員 11名 リハビリ職員 25名 他部署職員 11名	研修会後、吐物処理の実践を行う。	感染委員	「吐物処理の実践が出来、手順の再確認が出来て良かった」との声が多かった。アンケートでの満足度も高く好評化だった。
インシデント・ヒヤリハット対策 分析(医療安全対策委員会)	火曜日 13:00～ 13:15 毎週開催	医療安全対策委員会 メンバー	医療安全対策委員会 委員	委員で事例検討を行う。	医療安全管理者	1月から、毎週火曜日に(13:00～)カンファレンスを行い、事例について改善策を検討している。
AED講習会第2回 (医療安全委員会)	11月 19日	全職員	看護職員 } 17名 介護職員 } リハビリ職員 6名 他部署職員 3名	生命を守る専門職として基本的な救命処置について学ぶ	AEDの業者に依頼	2回目は、実技を兼ねて行った。実際施行して難しさが理解出来た様だ。
看護協会研修受講者伝達講習会②	1月28日(水)	看護・他希望者	看護職員 17名 介護職員 2名 リハビリ職員 0名 他部署 1名	研修で得られた知識・技術・情報を伝達することにより職員間が共有し、研鑽することができる	院外研修会参加者より	①前もって資料を見ることが大切。せつかくの研修、たくさんの方が出席してほしい。 ②退院調整に係わるチーム医療の重要性、感染対策について再認識できたことなど好評化だった。 ③各研修、内容の見直しを行うきっかけになり良かったと思います。
トランスファー講習会	2月 第3週目	看護・介護・リハビリ	看護職員 22名 介護職員 2名 リハビリ職員 13名 他部署 1名	安全・安心なトランス方法を実践で学ぶ。	PT/OT	他職種と連携、チーム医療の重要性について再認識できる機会となった。実践があり、やりやすいトランスを学ぶことが出来た。

26年度の評価

3階病棟

- 1、実技研修が講評であることから、日ごろの業務に関連した内容のものにステップが興味があるように感じた。基本的なものから、朝倉独自のルール(マニュアル)に発展させた研修の必要性を感じる。(和田師長)
- 2、座学講習より、グループワークや実際に手技を行う方が印象に残る講習会だと思いました。DVD研修も分かりやすいので、もっと取り入れたら良いと思います。(3階教育委員)
- 3、全般的に参加者が少なめで参加を促すことを積極的に行わなかった。研修の内容の検討や多くの参加が出来る工夫を検討する必要がある。(3階教育委員)

外来

- 1、実践的な項目にたいしては、出席者もあったようであるが、伝達発表となると、出席者が少なかったように思える。
- 2、情報をいかにキャッチするかを考えていく必要もある様である。→今後の課題
- 3、新しいものを学ぶほかに、確認という作業も必要とおもうので、今後も続けることが重要と思われる。

4階病棟

- 1、医療安全と感染は必須の研修なので出席率が高いが、他のものはあまりよくないし、片寄りがある。
- 2、各部署で、ちゃんと促すべき。又、対策が必要。

教育委員会より

- 1、看護協会研修の伝達講習については、各病棟から発表できるように、次年度はそれぞれ振り分けるなどの方法もひつようではないかと感じた。
- 2、Drによる勉強会は1回にみの実施になっており、参加者も多くみられています。なるべく研修内容は希望を取り入れています。来年度は各人が興味ある研修に参加し、発表してもらえるように促していきたいです。

○ 開催日は諸事情により予定日と異なる場合があります。変更時は事前にお知らせいたします。

○ 上記がい、各委員会等での研修・講習が実施される場合もあります。

○ 事前に「開催のお知らせ」を掲示しますので、各自出欠席を記入してください。